

平成30年 7月 31日
国立大学法人滋賀医科大学

2021年度 滋賀医科大学入学者選抜方法の見直しに係る予告について

平成29年7月13日付けの文部科学省高等教育局長からの「平成33年度大学入学者選抜実施要項の見直しに係る予告について（通知）」を踏まえ、本学の2021年度入学者選抜方法の基本は、本年7月31日現在で、次のとおりとする。

なお、今後、平成30年度末を目途に、より詳細な実施案を公表予定である。

1. 趣旨

本学の入学者選抜において、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針を踏まえた入学者受入れの方針に基づき、「学力の3要素」（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）を多面的・総合的に評価するものへと改善することを趣旨とし、各入試を以下のとおりとする。

2. 大学入学共通テスト

(1) 「一般選抜」（現行の一般入試）及び「学校推薦型選抜」（現行の推薦入試）においては、高等学校等における基礎的教科・科目についての幅広い基礎学力を測るため、現行と同様に、医学科においては5教科7科目を、看護学科においては5教科5科目又は6科目を課す。また、外国語（英語）については、全受験生にリスニングも課す。

(2) 英語科目の取扱いについては、大学入学共通テスト（以下、「新テスト」という）の枠組みにおける5教科7科目の位置づけとしての英語認定試験を「一般選抜」及び「学校推薦型選抜」の全受験生に課すとともに、2023年度に実施する2024年度入学者選抜までは、大学入試センターの新テストにおいて実施される英語試験を併せて課す。

なお、英語認定試験については、受験生の受験機会の公平性を保証する観点から、大学入試センターが認定した全ての資格・検定試験を対象とする。

また、2025年度以降の入学者選抜については、引き続き検討する。

(3) 英語認定試験結果の活用については、本学が定める一定水準以上の認定試験の結果を出願資格とする。

(4) 新テストの記述式問題については、新テストの5教科7科目を課す原則の下、記述式問題を含む国語及び数学を「一般選抜」及び「学校推薦型選抜」の全受験生に

課すこととする。その上で、国語の記述式問題の段階別成績表示については、その結果を点数化してマークシート式の得点に加点して活用する。数学の記述式問題の段階別成績表示については、正誤のみの判定であること、及び大問の中でマークシート式問題と一体で出題され記述式問題にも配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとする。

3. 一般選抜

- (1) 実施教科・科目については、現行の教科・科目とする。
- (2) 一般選抜における高度な記述式試験の実施については、各教科・科目において、自然科学分野における幅広い教養と深い知識、応用力とともに、理解力、読解力、語学力を測る作問や、理解力、思考力及び表現力など理論的に判断・推理を重ねて対象をとらえる力を測る作問に努める。
- (3) 多面的、総合的な評価を実現するため、調査書や志願者本人の記載する資料、面接等を活用する。

4. 学校推薦型選抜

- (1) 多面的、総合的な評価を実現するため、医学科においては小論文を課す。また、医学科・看護学科ともに、推薦書、調査書や志願理由書等の志願者本人の記載する資料、面接等を活用する。
- (2) この入試区分の募集人員については、「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するねらいを踏まえ、各学科・募集単位の事情に応じて適切に判断する。

以上